

# 9月定例会 一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信をしていますので、ご覧ください。

## 緑風会 平畑 武 議員

### 牧田地区の公共施設の考え方について

(質問) 牧田地区の公共施設では「公民館」が地域住民の活動拠点となっている。築年数は市内で最も長く利用率も非常に高いことから早急の建て替えが必要と思うが考えを問う。

(答弁) 本市では「まちづくり基本条例」に基づき、地域住民主体による「地域づくり協議会」の設立を目指している。公民館は参加する各種団体が意見交換

や情報共有ができる拠点として役割を果たしていくことが必要。公民館は地域づくり協議会の設立と発展には不可欠と考える。老朽化した公民館の建て替えは計画的に進めており、今年度は、栄公民館が年度末に完成する予定である。牧田公民館については、栄公民館の建て替えが終了した後に整備が必要な施設の一つと認識しており、現在、策定中の「鈴鹿市総合計画2023」の中で位置付けていきたいと考えている。

その他の質問 ○小中学校の施設及び処遇の改善について

## 平明の会 森 喜代造 議員

### 高齢者対策について

(質問) ①高齢者の食事支援について。②認知症初期集中支援チームの設置について。

(答弁) ①本市では、安否確認を行うことを要件として市内で6事業者が配食サービスをしている。昨年度は、245人に約5万6千回の食事を提供し、高齢者の在宅生活を支えている。利用者の希望により、一日3食の対応も可能である。

また、要介護状態にある方のニーズにより、特別食を提供できる事業者もある。

②認知症が疑われる人や、家族支援などの初期の支援を包括的に行い、自立生活のサポートを行うチームをいう。支援するチームを平成28年4月より、鈴鹿市社会福祉協議会に委託し、医療と介護の専門職1人ずつと、嘱託医2人の体制で試験的に1チームを設置していきたい。

その他の質問

○マイナンバー制度の導入について

## 鈴鹿の風 中西 大輔 議員

### シティズンシップ教育について

(質問) 鈴鹿市はシティズンシップ教育を推進、地域課題解決型キャリア教育に取り組むべきと考えるが市の考えはどうか。財政白書を作成し授業への活用をしてはどうか。土曜授業と地域人材の活用はどうか。また、市内高校との連携についての考えを問う。

(答弁) シティズンシップ教育としては、子ど

も議会や子ども会議の開催、資料「私たちのくらしと政治(鈴鹿市版)」を作成、各学校で地域との連携に取り組んでいる。財政白書ではなく、作成資料や市の情報を活用したい。地域人材を活用した授業は重要と考える。各高校との連携について、進路指導や人権教育などで連携を行っている。シティズンシップ教育について、必要に応じて豊富な知識や経験を持つ外部人材の協力を得て取り組みたい。

その他の質問 ○選挙公報について

○スポーツ活動の改善について

## 市民クラブ 中村 浩 議員

### 津波避難ビルの充実について

(質問) 津波避難ビルを整備していく必要があり、小・中学校をもっと活用していくべき。現在、市内小・中学校全40校のうち9校に震度5弱以上の揺れに対して自動解錠される地震自動解錠鍵ボックスが設置されている。これには校舎の鍵などが入っており、管理者等が不在の時でも学校の校

舎内に入ることができ、身の安全を確保できる。全小・中学校に対して設置を求める。

(答弁) 津波の危険性の低い地域では、避難が一刻を争う地域に比べて時間的な猶予がある。また、地震からの避難場所としては、校舎内ではなく体育館に避難することになっている。地震自動解錠鍵ボックスの全小・中学校への設置については、本市の避難計画との整合性や、費用対効果について十分検討した上で対応する。

その他の質問 ○地域FM放送について